

# ようこそ演奏会へ、 元気と笑顔をお届けます

日野高校で音楽を学ぶ『音楽系列』の生徒と教員が日ごろ学習した成果を発表する、第11回定期演奏会が、1月25日、町文化センターで開かれました。

会場は、日野高校の生徒と教員をはじめ、地域の人でいっぱい。一生懸命発表する姿に、大きな拍手を送りました。



ピアノに向かう表情は真剣



会場全体に届く歌声

定期演奏会は、二部構成で、一部では、2年生と3年生がそれぞれ主に学ぶ、ピアノやサクソフォン、チェロの独奏と、ピアノ伴奏でソプラノ独唱を発表しました。

日ごろの学習の成果を発表した生徒らは、ステージ上で緊張した様子でしたが、一曲一曲終わるたびに会場から送られる、大きくて温かい拍手にホッと、笑みを浮かべていました。

また、生徒の発表後は、教員がピアノ演奏とソプラノ独唱を披露。ピアノは2人で息を合わせて弾く技術の高い連弾、ソプラノ独唱は会場に響渡る透き通った歌声で、観客を魅了しました。

二部では、弦楽器による演奏のほか、音楽系列の生徒と教員で元気いっぱいの合唱が行われ、観客が曲に合わせて手を振り盛り上げるなど、ステージと客席が一つになりました。外の寒さを吹き飛ばすような、明るく温かい演奏会でした。

音楽系列は平成7年、旧根雨高校に県内初となる音楽の専門的な知識を学ぶ『音楽教養コース』が新設されたことがきっかけで、そのカリキュ



緊張の面持ちでソプラノ独唱に臨む



堂々とした演奏を披露



楽譜に集中し一生懸命演奏

鳥取県立日野高等学校  
第11回定期演奏会



音楽系列で学ぶ生徒と教員と一緒に合唱



音楽系列の教員によるピアノ連弾（左）とソプラノ独唱（右）



この日のために練習してきた成果を発揮

ラムを引き継いでいるということ。卒業生は、音楽の演奏家や指導者として国内外で活躍していたり、保育関係に進んでいます。

内容は、楽器や声楽の個人レッスンをはじめ、大学教授による特別講義など、特色ある授業が行われており、今年度、1年生から3年生まで43人が学んでいます。

日野高校は総合学科。「普通学科」と「専門学科」の枠を越え、多彩な選択授業により、生徒が主体的に学習する力を身につけ、一人一人の個性を大切に伸ばす学科です。

生徒は、進学、音楽、アグリライフ、情報・ビジネス、福祉・健康から自分に合った科目を選択し学んでいます。